

科学研究推進WG

田原 俊司

1. 活動記録

本年度の主な活動内容は本学主催の科学研究費補助金に関する講演会出席，奨励研究相談会の開催および奨励研究申請書類の事前チェックである。以下にその活動と連絡会の概略を記す。

活動概略

- 7月20日 科学研究費補助金に関する講演会出席
- 10月28日 奨励研究相談会開催
- 10月29日 奨励研究計画調書サンプル配布
- 11月1日～24日 奨励研究申請書類の事前チェック
 - 11月1日 事前チェック受付開始
 - 11月11日 事前チェック受付締切り
 - 11月17日 事前チェック後返却完了
 - 11月24日 技術部内の奨励研究申請書類提出締切り

連絡会概略

- 7月8日 第1回科学研究推進WG連絡会
 - ・社会連携課主催の科学研究補助金申請説明会に出席することを決定
 - ・奨励研究相談会参加希望者をメール配信で募ることを決定
 - ・採択結果および全国の採択率と比較検討
 - ・計画調書・応募カード記入要領の変更点を洗い出す作業を行うことを決定
 - ・技術部HPに科学研究補助金全般について採択状況の掲載提言を決定
- 10月13日 第2回科学研究推進WG連絡会
 - ・奨励研究相談会の日程を参加希望者と調整することを決定
 - ・申請件数増加策として職員評価等に外部資金申請状況の項目を付加することを提言
- 10月28日 第3回科学研究推進WG連絡会
 - ・計画調書・応募カードの記入要領変更点の洗い出し作業
 - ・事前チェックのチェック方針について確認
- 12月10日 第4回科学研究推進WG連絡会
 - ・申請推進活動の成果について報告
 - ・次年度の目標を議論

2. 成果

奨励研究申請書類のチェック依頼件数は前年度より1件増えて7件であった。申請1件に対し、前年度までは2名の委員がチェックを行っていたが本年度は3名に増やして行った。また、申請件数は前年度より2件増加して27件となり、特任職員を除いた奨励研究の申請率は75%となり前年度から6%増加した。

なお、平成22年度奨励研究については申請件数25件に対し採択件数は3件であった。全国的にみて申請件数が年々増えて獲得競争がますます激化しており、質の向上が求められると思われる。

また、研究者登録をしているため奨励研究の申請ができない人については科学研究費補助金申請率が67%であった。

3. 今後について

本年度から奨励研究についても本学社会連携課による事前チェックが開始され、技術部からは3件の依頼があった。とくに今後は本WGによる事前チェックとの明確な差別化を図る必要があると思われる。

最後に有用な情報をすべての技術職員に伝えるとともに、申請の奨励活動にもさらに力を注ぎたいと考えている。